



# 熊野古道

海南市

熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社を熊野三山といひ、平安期以降、京の皇族や貴族たちが浄土を求めてこの熊野三山への道をたどったのが熊野古道。熊野信仰はしだいに庶民へと広がり、熊野への行列は「鐘の熊野詣」と呼ばれたほどの人気になった。道中には休憩所ともいべき九十九王子が設けられ、海南市から下津町にかけても多くの王子跡が今も歴史の面影を色濃く漂わせながら残っている。さあ、まずは熊野聖域への入り口といわれる五体王子のひとつである藤白神社から、いにしえの人々が折りをこめて踏みしめた道を、それぞれの思いを心に抱いてたどってみよう。

